



2022年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年7月14日

上場会社名 株式会社 リンガーハット
 コード番号 8200 URL <https://www.ringerhut.co.jp>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 佐々野 諸延

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 小田 昌広

TEL 03-5745-8611

四半期報告書提出予定日 2021年7月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第1四半期の連結業績(2021年3月1日～2021年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	7,892	10.2	△627	—	353	—	105	—
2021年2月期第1四半期	7,163	△39.1	△2,377	—	△2,494	—	△1,782	—

(注) 包括利益 2022年2月期第1四半期 164百万円 (—%) 2021年2月期第1四半期 △1,819百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	4.20	—
2021年2月期第1四半期	△71.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第1四半期	34,306	10,188	29.6	404.17
2021年2月期	35,786	9,614	26.8	384.24

(参考) 自己資本 2022年2月期第1四半期 10,164百万円 2021年2月期 9,589百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年2月期	—	—	—	—	—
2022年2月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,500	8.4	△350	—	700	—	450	—	18.07
通期	37,000	8.7	400	—	1,450	—	800	—	32.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年2月期1Q	26,067,972 株	2021年2月期	26,067,972 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2022年2月期1Q	917,834 株	2021年2月期	1,110,772 株
------------	-----------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年2月期1Q	25,126,029 株	2021年2月期1Q	24,892,867 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 本資料に記載されている予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(2) 本資料のサマリー情報、【添付資料】2ページ「経営成績に関する説明」及び9～10ページ「セグメント情報等」に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、猛威を振るい続ける新型コロナウイルス感染症の収束が見えず現在もなお厳しい状況が続いております。

外食産業におきましては、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による営業時間の短縮や外出自粛による来店客数の減少などもあり、依然として非常に厳しい経営環境が続いております。

当社グループでも新型コロナウイルス感染症対策として、従業員のマスク着用、個人衛生チェックの徹底、アルコール消毒液の店内設置、客席へのパーテーション設置など、感染予防対策を引き続き実施しております。

このような状況の中、当社は食の「安全・安心・健康」向上に継続して取り組んでまいりました。また、『全員参加で、創業60周年に向けて前進しよう』をスローガンに、企業価値向上に努めてまいりました。

コロナ禍の施策としては、お客様の消費スタイルの変化に伴いテイクアウトやデリバリー販売を強化するための出前代行サービスの選択肢を拡充するとともに、その対応可能店舗を拡大いたしました。

出退店につきましては、国内で6店舗、海外で1店舗を退店いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間末の当社グループ合計の店舗数は、国内686店舗、海外11店舗の計697店舗(うち直営店舗497店舗、フランチャイズ店舗200店舗)となりました。

既存店の売上高につきましては、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置を発出された都道府県を中心に、酒類販売自粛や店舗営業時間短縮を余儀なくされましたが、テイクアウトやデリバリー販売の売上が伸びたこともあり、当社グループ全店舗計で、当第1四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は126.3%となりました。

営業外収益には、営業時間短縮要請に係る時短協力金等を補助金収入として10億59百万円を計上しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は78億92百万円(前年同期比10.2%増)、営業損失は6億27百万円(前年同期営業損失23億77百万円)、経常利益は3億53百万円(前年同期経常損失24億94百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億5百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失17億82百万円)となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

(長崎ちゃんぽん事業)

「長崎ちゃんぽんリンガーハット」では、3月より期間限定メニューとして「とくちゃんぽんグリーンアスパラ」、4月より春の季節商品として「はたてとあさりのちゃんぽん」、夏の定番商品「冷やしちゃんぽん」を販売開始いたしました。また、継続して巣ごもり需要に応えるためテイクアウト専用商品や冷凍食品の販売を強化しております。

出退店につきましては、国内で6店舗、海外で1店舗を退店した結果、当第1四半期連結累計期間末の店舗数は、国内で599店舗、海外で9店舗の計608店舗(うちフランチャイズ店舗183店舗)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は131.8%となり、売上高は62億40百万円(前年同期比15.0%増)、営業損失は6億24百万円(前年同期営業損失20億74百万円)となりました。

(とんかつ事業)

「とんかつ事業」では、3月よりテイクアウトの認知度を上げるため、またとんかつ専門店の人気総菜をご家庭でも召し上がっていただくために「お持ち帰りパック」を販売開始いたしました。さらに、5月より夏の定番かつとして期間限定で梅仕立ての「重ねかつ梅しそシリーズ」を販売しております。

出退店はありませんでしたので、当第1四半期連結累計期間末の店舗数は国内87店舗(和食業態の長崎卓袱浜勝、とんかつ大學を含む)、海外で2店舗の計89店舗(うちフランチャイズ店舗17店舗)となっております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の既存店売上高前年比率は109.0%となり、売上高は16億8百万円(前年同期比4.0%減)、営業損失は55百万円(前年同期営業損失3億36百万円)となりました。

(設備メンテナンス事業)

設備メンテナンス事業は、当社グループ内における直営店舗及びフランチャイズ店舗の設備メンテナンスに係る工事受注や機器保全などが主な事業であり、当第1四半期連結累計期間の売上高は4億84百万円(前年同期比11.6%増)、営業利益66百万円(同33.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ14億79百万円減少し343億6百万円となりました。これは主に現金及び預金を中心とした流動資産の減少によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ20億53百万円減少し241億17百万円となりました。これは主に長期借入金の減少及び消費税の支払猶予分納付による未払消費税等の減少によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ5億74百万円増加し101億88百万円となりました。これは主に新株予約権行使請求により自己株式を4億57百万円処分したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の連結業績予想につきましては、2021年4月14日に発表した前回予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,348,621	7,486,353
売掛金	994,943	969,499
商品及び製品	168,526	182,474
仕掛品	17,393	9,997
原材料及び貯蔵品	331,195	316,613
前払費用	247,601	320,173
未収入金	982,237	629,556
その他	196,792	201,368
貸倒引当金	△83,122	△80,916
流動資産合計	11,204,187	10,035,120
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,804,782	10,696,196
機械装置及び運搬具(純額)	1,778,590	1,785,990
土地	5,828,410	5,828,410
リース資産(純額)	116,420	107,323
建設仮勘定	26,083	14,012
その他(純額)	780,404	758,032
有形固定資産合計	19,334,692	19,189,966
無形固定資産	419,501	448,279
投資その他の資産		
投資有価証券	539,830	602,064
繰延税金資産	300,518	308,521
退職給付に係る資産	68,368	68,787
差入保証金	1,012,128	955,588
建設協力金	66,307	63,526
敷金	2,542,302	2,330,820
その他	316,963	322,507
貸倒引当金	△18,748	△18,748
投資その他の資産合計	4,827,670	4,633,067
固定資産合計	24,581,865	24,271,313
資産合計	35,786,052	34,306,434

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	792,280	668,092
1年内償還予定の社債	316,000	308,000
1年内返済予定の長期借入金	2,952,365	2,906,680
リース債務	99,607	102,844
未払金	961,443	520,621
未払費用	1,289,938	1,391,351
未払法人税等	168,800	239,157
未払消費税等	856,593	242,758
株主優待引当金	113,514	96,083
店舗閉鎖損失引当金	96,384	33,719
販売促進引当金	8,811	—
資産除去債務	97,177	6,274
その他	454,984	489,179
流動負債合計	8,207,900	7,004,765
固定負債		
社債	282,000	132,000
長期借入金	13,818,578	13,135,358
長期末払金	543,420	540,621
リース債務	242,240	253,421
株式給付引当金	143,298	141,365
退職給付に係る負債	837,071	854,892
長期預り保証金	379,400	356,867
資産除去債務	1,542,491	1,531,283
繰延税金負債	55,046	61,929
その他	120,314	105,427
固定負債合計	17,963,864	17,113,166
負債合計	26,171,764	24,117,932
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,002,762	9,002,762
資本剰余金	7,013,102	2,437,160
利益剰余金	△3,963,448	672,320
自己株式	△2,599,481	△2,142,323
株主資本合計	9,452,935	9,969,920
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113,813	177,542
為替換算調整勘定	△14,551	△2,575
退職給付に係る調整累計額	37,380	20,052
その他の包括利益累計額合計	136,642	195,018
新株予約権	5,632	4,485
非支配株主持分	19,078	19,078
純資産合計	9,614,288	10,188,502
負債純資産合計	35,786,052	34,306,434

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
売上高	6,947,372	7,638,082
売上原価	2,822,609	2,864,191
売上総利益	4,124,762	4,773,890
その他の営業収入	215,677	253,957
営業総利益	4,340,440	5,027,847
販売費及び一般管理費	6,717,845	5,655,613
営業損失(△)	△2,377,404	△627,766
営業外収益		
受取利息	711	614
受取配当金	243	270
為替差益	—	3,197
未回収利用券受入益	9,874	—
受取補償金	—	13,986
補助金収入	—	1,059,570
その他	6,552	8,508
営業外収益合計	17,383	1,086,147
営業外費用		
支払利息	13,553	72,726
為替差損	21,756	—
リース解約損	4,870	8,111
持分法による投資損失	23,790	4,680
支払手数料	55,000	14,332
その他	15,677	5,459
営業外費用合計	134,648	105,310
経常利益又は経常損失(△)	△2,494,670	353,070
特別利益		
固定資産売却益	15,709	483
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	3,053
特別利益合計	15,709	3,537
特別損失		
固定資産売却損	1,379	—
固定資産除却損	4,461	8,173
店舗閉鎖損失	—	2,216
店舗閉鎖損失引当金繰入額	3,000	—
減損損失	106,714	19,754
特別損失合計	115,555	30,144
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,594,516	326,463
法人税等	△811,998	220,700
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,782,518	105,762
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,782,518	105,762

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,782,518	105,762
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,337	63,729
為替換算調整勘定	△6,694	8,086
退職給付に係る調整額	△23,322	△17,328
持分法適用会社に対する持分相当額	550	3,889
その他の包括利益合計	△36,804	58,376
四半期包括利益	△1,819,323	164,139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,819,323	164,139

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の拡大は当社の事業活動にも大きな影響を及ぼしています。今後も当社の事業に影響が及ぶことが想定されますが、新型コロナウイルス感染症の広がりや収束時期の見通しにつきましては、2021年度中にかけて影響が続くと想定しております。

当社グループはこの仮定のもと、固定資産の減損会計の適用や繰延税金資産の回収可能性の判断など会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注) 3						
外部顧客への売上高	5,424,434	1,674,871	63,743	7,163,049	—	7,163,049
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	370,061	370,061	△370,061	—
計	5,424,434	1,674,871	433,805	7,533,111	△370,061	7,163,049
セグメント利益 又は損失(△)	△2,074,626	△336,133	49,964	△2,360,794	△16,609	△2,377,404

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△16,609千円には、セグメント間取引消去△1,113千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△15,496千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「長崎ちゃんぽん」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は89,025千円であります。

「とんかつ」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間中に退店が決定した店舗に対し、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は17,689千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年3月1日至2021年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	長崎 ちゃんぽん	とんかつ	設備 メンテナンス	合計		
売上高 (注) 3						
外部顧客への売上高	6,240,050	1,608,134	43,853	7,892,039	—	7,892,039
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	440,219	440,219	△440,219	—
計	6,240,050	1,608,134	484,073	8,332,258	△440,219	7,892,039
セグメント利益 又は損失(△)	△624,849	△55,156	66,670	△613,335	△14,430	△627,766

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△14,430千円には、セグメント間取引消去2,017千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△16,447千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

3. 売上高にはその他の営業収入を含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「長崎ちゃんぽん」セグメントにおいて、当第1四半期連結会計期間中の減損損失の計上額は19,754千円であります。

「とんかつ」セグメントにおいて、該当事項はありません。

3. 補足情報

フランチャイズ店舗の売上高を加味した総売上高

期別	項目	長崎ちゃんぼん事業			とんかつ事業			外販事業	その他	合計
		直営店	フランチャイズ店	合計	直営店	フランチャイズ店	合計			
2022年 2月期 第1四半期 連結累計 期間	売上高 (百万円)	4,974	1,805	6,779	1,461	348	1,809	560	50	9,200
	店舗数 (店)	425	183	608	72	17	89	—	—	697
2021年 2月期 第1四半期 連結累計 期間	売上高 (百万円)	4,399	1,442	5,841	1,539	318	1,857	443	98	8,241
	店舗数 (店)	505	203	708	89	18	107	—	—	815
対前年比率	売上高	113.1%	125.2%	116.1%	95.0%	109.6%	97.5%	126.5%	51.8%	111.6%
	店舗数	84.2%	90.1%	85.9%	80.9%	94.4%	83.2%	—	—	85.5%

(注) 当社グループはフランチャイズ事業を拡大しており、外部売上高の純粹比較ができるように、参考資料として掲示しております。

なお、連結損益計算書に記載されている売上高は、フランチャイズ店舗から受け取るロイヤリティー収入と材料等売上高を計上しているため、この表の数値とは一致いたしません。